

2026年5月15日

各 位

会 社 名 旭有機材株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 中野 賀津也
(コード：4216 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート統括本部 経営企画部長 甲斐 徳光
TEL. 03-5826-8823

中期経営計画『GNT2030』に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日開催の取締役会において、2026年度から2030年度までを対象とする新たな中期経営計画『GNT2030』を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画（GNT2025）の総括

当社は前中期経営計画（GNT2025）において、半導体関連分野および海外展開への重点投資を進め、売上高・収益ともに成長を実現いたしました。また、2023年度には市場環境の変化を踏まえ数値目標を見直すなど、戦略の機動的な修正を行ってまいりました。

一方で、2024年度以降は外部環境変化の影響を受け、最終的な業績は上方修正後の目標値を下回る結果となりました。しかしながら、成長投資および事業基盤の強化は着実に進展しています。

こうした取り組みを踏まえ、新中期経営計画（GNT2030）では、投資の重点をより戦略志向へと高め、成長機会を積極的に取りに行く投資へと転換し、成長性と資本効率の両立を目指してまいります。

2. 新中期経営計画（GNT2030）の概要

旭有機材グループは、中長期の目指す姿として「グレートニッチトップ™」を掲げ、単なる規模拡大ではなく、独自の技術や価値提案により、ニッチ市場を創出・拡張し、社会や顧客から選ばれ続ける企業となることを志向しています。

この実現に向け、①半導体分野における技術力・供給力を軸とした事業の深化・拡大、②地域ごとの市場特性を捉えたニッチトップ戦略、③国内における競争から共創へと進化する事業モデルの変革という三つの成長戦略を推進するとともに、これらを戦略的に遂行する枠組みとしてSBU（戦略事業単位）を設定し、収益構造・競争優位・投資優先度を可視化した事業ポートフォリオマネジメントを行ってまいります。

あわせて、2026年度から2030年度までの累計約600億円の成長投資を通じて、人材・技術・顧客との信頼関係を中核とする無形資産とデジタル活用を強化し、ROIC10%、ROE15%の達成を目標とする資本効率経営のもと、財務健全性を確保しながら総還元性向50～70%を目安とした株主還元を実施し、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

3. 計数目標

本計画における計数目標は以下のとおりです。

	2025 年度実績	2030 年度計画
売 上 高	801 億円	1,200 億円
営 業 利 益	76 億円	200 億円
E B I T D A	110 億円	300 億円
当 期 純 利 益	33 億円	140 億円
R O I C	4%	10%
R O E	4%	15%
D / E レ シ オ	0.08	0.5 以下
総 還 元 性 向	68%	50~70%程度

4. 投資戦略（2026 年度～2030 年度累計）

本計画では、成長領域への重点投資と基盤維持投資をバランスよく実行し、収益成長の実現を図ります。

成 長 投 資	設備投資・研究開発	約 400 億円
	M&A・JV 出資など	約 100 億円
基 盤 維 持 投 資	設備更新・合理化	約 100 億円

5. 説明資料

詳細につきましては当社ホームページをご参照ください。

(将来見通しに関する注意事項)

本資料に記載されている予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上